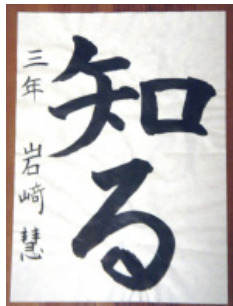




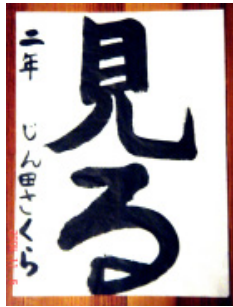
十五日

15日屋席、空席の目立つ会館進徳殿。1番大切な行事の報恩講ですが、ここ1~2年で法座参詣者が激減して、お齋を作る方が外へ行かれるとこのような室内に。ご門徒の皆さん、どうぞお誘いあわせの上、毎月の法座にお参り下さい！

本願寺全国児童作品展応募作品 中原 薫乃 (中1)



本願寺全国児童作品展応募作品 岩崎 慧 (小3)



本願寺全国児童作品展応募作品 甚太 さくら (小2)

本坊(正当報恩講、大速夜(親鸞さまの命日の前日の夜)、親鸞さまの伝記物語『御伝抄』)を拝読する多田法務員、参詣者には白味噌仕立てのお雑煮がお接待された。



十六日

ご満座満堂の長ノ木本坊会館進徳殿(通称表庫裏)。



壮年会も報恩講。湯豆腐で一杯。流行の焼酎、幻の日本酒、お精進でも十分美味しい。



十一月二十四日に行われた安芸南組報恩講ほとけの子どもの集いのアトラクションの様子。今年はバルーンアートで遊びました。(於蔵本通支坊)



「深くご恩をよろこび、ありがたくいただきます。」合掌する百四十名の仏の子。

蔵本通支坊ご正当報恩講では恒例の『ご絵伝』(親鸞さまの伝記絵巻物)の絵解きが行われました。また、伝記にまつわる写真を見たり、恵信尼さまのお手紙、親鸞さまの主著『教行証文類(国宝坂東本)』など、複製品ですが実際に書かれたものに触れながら、みあとを偲びました。参詣者には甘酒(大内山・満ち潮さん寄付)が振舞われた。